



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 永谷園ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2899 URL <https://www.nagatanien-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永谷 泰次郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理財務部長 (氏名) 江口 輝 TEL 03-3432-3105
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,775	13.0	1,308	36.0	1,728	15.4	860	△4.2
2023年3月期第1四半期	23,688	8.3	962	△24.1	1,497	10.3	898	20.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,377百万円 (31.4%) 2023年3月期第1四半期 1,047百万円 (△39.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	49.25	—
2023年3月期第1四半期	51.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	98,754	41,172	39.0
2023年3月期	96,615	40,066	38.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 38,501百万円 2023年3月期 37,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.50	—	15.50	31.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	15.50	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,800	3.0	5,900	11.4	5,600	4.8	3,600	15.6	206.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	19,138,703株	2023年3月期	19,138,703株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,663,669株	2023年3月期	1,663,619株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	17,475,051株	2023年3月期1Q	17,576,714株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、経済活動の正常化や人流の増加が進み、個人消費も持ち直す等、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、物価上昇やエネルギー価格の高騰、世界的な金融引き締め等、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高26,775百万円（前年同期比13.0%増）となりました。利益面については、営業利益は1,308百万円（同36.0%増）、経常利益は1,728百万円（同15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は860百万円（同4.2%減）となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

① 国内食料品事業

永谷園では、当社が創立70周年という節目の年を迎えるにあたり、対象商品を購入して応募すると抽選で5,000名様に「70周年限定 感謝お茶づけセット」が当たる「おかげさまで70周年プレゼントキャンペーン」を実施し、売上拡大に努めてまいりました。加えて、「めざまし茶づけ」施策の一環として、忙しい朝でもすぐに食べられる「お茶づけ」に興味をもってもらえるよう「お茶づけ海苔」のサンプリングの実施や、5月17日の「お茶漬けの日」にあわせた販売促進企画の展開等、「お茶づけ商品」の魅力を最大限に伝える取り組みを実施いたしました。また、電子レンジでパスタとソースが一度に調理できるという新たな調理方法を提案するパスタソース「パキットシリーズ」はお客様にご好評いただいております。各種メディアにも取り上げられる等好調に推移いたしました。

以上の結果、国内食料品事業の売上高は12,853百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

② 海外食料品事業

Chaucerグループでは、フリーズドライの既存商品の品質向上及び拡販に努めるとともに、顧客ニーズに合わせた新商品開発にも取り組んでまいりました。米国市場では、インフレにより消費が低迷する中で、主に大手小売企業との関係強化により、PB商品の拡販に努めてまいりました。欧州市場では、グローバル企業との取引拡大による新商品投入を進めてまいりました。アジア市場では、主に飲料・製菓市場での売上拡大に努めてまいりました。

また、MAIN ON FOODSグループでは、米国市場における麺商品及び粉商品のサプライヤーとして、多数の外食企業・食品メーカー及び小売企業との着実な取引拡大に努めてまいりました。開発面においても、畜肉取り扱いの認証取得により商品ラインナップの拡充を図るとともに、多様な健康ニーズに対応すべく、機能的食品やミールキット等の新商品開発にも取り組んでまいりました。

以上の結果、海外食料品事業の売上高は10,000百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

③ 中食その他事業

麦の穂グループでは、シュークリーム専門店「ビアドパパ」にて月替わりの限定シュークリームとして、店舗内のオープンで焼き上げた4種類の中からシュー生地を選べる「ストロベリーチーズケーキ」（4月）や、香り高い宇治抹茶を使用したクリームと、ほんのりビターなショコラシュー生地を合わせた「漆黒の抹茶シュー」（5月）等を販売し、売上拡大に努めてまいりました。また、都内のSDGsイベントにて、ビアドパパ初のキッチントレーラー型店舗である「ビアドパパのシュークリームトレーラー」を出店し、シュークリームを販売いたしました。加えて「残さず食べよう！」をテーマにシュークリームの生地を使用したラスク作り体験を通じてSDGsを学べる無料のワークショップを開催し、多くのお客様よりご好評いただきました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は3,839百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より2,139百万円増加し、98,754百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より1,033百万円増加し、57,582百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は主に、利益剰余金が増加したことにより41,172百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より936百万円増加の38,501百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇の39.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初計画の範囲内で推移していることから、2023年5月12日発表の業績予想に変更はありません。なお、今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,834	11,014
受取手形及び売掛金	15,968	14,244
商品及び製品	7,482	7,253
仕掛品	1,449	1,681
原材料及び貯蔵品	7,068	6,661
その他	1,840	2,067
貸倒引当金	△87	△80
流動資産合計	42,556	42,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,871	20,949
減価償却累計額	△13,237	△13,352
建物及び構築物 (純額)	7,634	7,596
機械装置及び運搬具	34,554	35,864
減価償却累計額	△23,307	△23,773
機械装置及び運搬具 (純額)	11,247	12,091
土地	11,108	11,110
リース資産	2,603	2,731
減価償却累計額	△916	△993
リース資産 (純額)	1,687	1,738
建設仮勘定	1,205	1,412
その他	2,808	2,531
減価償却累計額	△2,291	△2,036
その他 (純額)	516	495
有形固定資産合計	33,399	34,445
無形固定資産		
のれん	9,309	9,112
その他	252	221
無形固定資産合計	9,562	9,333
投資その他の資産		
投資有価証券	7,460	8,544
その他	3,665	3,616
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	11,096	12,131
固定資産合計	54,058	55,911
資産合計	96,615	98,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,205	7,940
電子記録債務	2,584	2,476
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
短期借入金	8,779	9,841
未払法人税等	797	862
賞与引当金	815	410
その他	9,224	8,648
流動負債合計	34,407	35,180
固定負債		
社債	10,060	10,060
長期借入金	7,460	7,301
役員退職慰労引当金	138	142
退職給付に係る負債	148	131
資産除去債務	286	289
その他	4,047	4,476
固定負債合計	22,141	22,401
負債合計	56,548	57,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	3,759	3,759
利益剰余金	32,690	33,280
自己株式	△3,231	△3,231
株主資本合計	36,721	37,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,064	2,814
土地再評価差額金	△2,602	△2,602
為替換算調整勘定	1,503	1,099
退職給付に係る調整累計額	△121	△120
その他の包括利益累計額合計	844	1,191
非支配株主持分	2,500	2,670
純資産合計	40,066	41,172
負債純資産合計	96,615	98,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,688	26,775
売上原価	16,545	18,679
売上総利益	7,142	8,095
販売費及び一般管理費		
退職給付費用	57	62
賞与引当金繰入額	133	132
給料及び賞与	1,783	1,961
運賃及び荷造費	1,052	1,074
その他	3,152	3,556
販売費及び一般管理費合計	6,180	6,787
営業利益	962	1,308
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	83	109
為替差益	456	373
その他	92	74
営業外収益合計	632	558
営業外費用		
支払利息	42	93
その他	54	44
営業外費用合計	97	137
経常利益	1,497	1,728
特別利益		
投資有価証券売却益	13	34
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	43	—
特別利益合計	57	34
特別損失		
減損損失	2	3
事業撤退損	7	1
店舗閉鎖損失	1	—
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純利益	1,544	1,757
法人税等	522	709
四半期純利益	1,022	1,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	187
親会社株主に帰属する四半期純利益	898	860

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,022	1,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	749
為替換算調整勘定	256	△422
退職給付に係る調整額	△3	1
その他の包括利益合計	25	328
四半期包括利益	1,047	1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	780	1,207
非支配株主に係る四半期包括利益	267	169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	12,425	8,159	3,063	23,648	40	23,688	—	23,688
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,425	8,159	3,063	23,648	40	23,688	—	23,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	24	24	△24	—
計	12,425	8,159	3,063	23,648	65	23,713	△24	23,688
セグメント利益	672	381	260	1,314	37	1,351	△389	962

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2 セグメント利益の調整額△389百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△387百万円、セグメント間取引消去△1百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	12,853	10,000	3,839	26,692	—	26,692	—	26,692
その他の収益	—	—	—	—	83	83	—	83
外部顧客への売上高	12,853	10,000	3,839	26,692	83	26,775	—	26,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	24	24	△24	—
計	12,853	10,000	3,839	26,692	107	26,800	△24	26,775
セグメント利益	592	801	300	1,694	79	1,774	△465	1,308

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2 セグメント利益の調整額△465百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△464百万円、セグメント間取引消去△1百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。